

ゴンちゃん

かまちゅよこらん



記事と一緒に、より身近に
求人情報 山日カーグループ
毎週日曜日、新聞本紙に掲載

千葉の乳児衰弱死 行政連携不足 虐待対応教訓生きず

6/14 山梨日日新聞

千葉県市原市で生後10ヶ月の小西紗花ちゃんが衰弱死し、今月3日、母親の理紗容疑者(23)が保護責任者遺棄容疑で逮捕された。紗花ちゃんは検診や予防接種を受けておらず、様子を確かめてほしいという通報も寄せられていたが、市は約9ヶ月間、実際の姿を見ていないかった。千葉県では昨年の小4女児虐待死事件を受け、関係機関の連携強化がうたわれていたが、教訓は生かされなかつた。

「組織として危機意識が低かった」。小出謙治市長は12日の臨時記者会見で対応の不備を認めて謝罪。今後第三者委員会で検証すると表明した。

紗花ちゃんは1月25日、自宅で極度に瘦せて見つかり病院で死亡が確認された。低栄養と脱水で衰弱死した疑いがあり、県警は適切な食事を与えず医療措置も受けさせることなく放置したとして理紗容疑者を逮捕した。

市によると、昨年4月に保健師が生後1ヶ月の紗花ちゃんをアパートに訪ねた際、問題はなかつたが、理紗容疑者の体調に心配があり公的な支援対象とした。その後、保健師らが複数回自宅を訪問したが、インターネット越しや玄関での対応にとどまり、姿を直

いと2度にわたり市に要請していったことが発覚すると一転

「児童相談所などに相談すべきだった」と落ち度を認めた。

同市では2014年、生後8ヶ月の男児の虐待死事件があり、検証報告書で「安全確認は目視が基本」と指摘されていた。19年1月には野田市

で小学4年の栗原心愛さん(みあ)が父親から虐待を受け死亡している。野田市の事件で市の検証委員会に加わった日本大の鈴木秀洋准教授(危機管理学)は「他機関からの通報が放置されたのは理解できない。過去の事件の検証報告書をなぞり、組織としてできていたことを認めていかなかったことを指摘した。

6月14日午後11時55分ごろ、群馬県太田市金山町の県道脇に

ある無職三田達章さん(68)方に乗用車が突っ込んだ。自

殺にいた三田さんが車の下敷きになり、搬送先の病院で死

亡した。

太田署は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、

違反(過失傷害)の疑いで、

違反(過

